

大泉学園中学校 2015. 10月号

Library News

発行者：図書館支援員 治田

ワンシーン紹介

爪先立ちして、窓からのぞく。母さんがドアまで行くと、奥さんは母さんの腕を乱暴につかみ、中にひきずっていった。

母さんがこんな目にあっちゃいけない。手がふるえる。小屋のドアを開め、ぼくは市場への道を走った。

「ぼくと象のものがたり」

リン・ケリー 933・ケ

少しずつ肌寒くなってきました。

季節の変わり目には風邪をひきやすいものです。

体調が悪い時には無理をせず、室内で静かに読書しませんか？

図書館からのオススメ図書

図書館には新しい本以外にも面白い本がいっぱい！

その中から4冊オススメします！

15歳からはじめる成功哲学

千田 琢哉 159・セ

「何もできなくてもいいから、何でもやっておく」
「お金は、知恵に群がる」
「告白しなくてもいいから、ラブレターを書こう」
未来、勉強、お金、友情、恋愛。
自信を持ってない若者へ贈る、今を生きる50の言葉。

ぼくを探しに

シルヴァスタイン 726・シ

何か足りない。それでぼくは楽しくない。
だからぼくは、ぼくのかげらを探しに行く。
うたをうたいながら。ころがりながら。

ぼくのかげらは見つかるの？

魔法使いハウルと火の魔法

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ 933・ジ

荒れ地の魔女の呪いで90歳の老婆の姿にされたソフィーは家族を驚かせたくないと家出して、空中の城に掃除婦として住み込む。城の主の魔法使いや弟子、火の悪魔たちと一緒に魔女と戦おうとするが…。

父と息子のフィルム・クラブ

デヴィッド・ギルモア 936・ギ

「学校に行きたくない」と訴える15歳の息子に、父は戸惑いながら「わかった。その代り週に3本一緒に映画を観て、感想を話し合おう」と誘った…。本当にあった物語。

図書館からのお知らせ

今月は「響きあうハーモニー」「ハロウィン」「名作を読もう」をテーマに本を置いています。

返却日を過ぎた図書、誰が借りたのかわからない図書などありましたら、図書室まで持ってきてください。

双頭の蜥蜴(サラマンダー)
乾石 智子 <913・イ>

マンハッタンで生まれ育ったシエラは、幼いころに兄を亡くし、母親との確執に苦しんでいる孤独な少女。彼女は不思議な異世界の住人だった。

これは、一人の少女が世界を知る物語—。

みんなの秘密
畑野 智美 <913・ハ>

仲良し3人組だったわたしたちには、みんな、人には言えない秘密があった。

優しさ。悪意。淡い恋心。胸が痛くなる嘘。見て見ぬふり。嫉妬。言い訳。仲間になるために犯さないといけない罪—。退屈な日常から脱出するため、中学2年生は、あちら側に一歩、ふみ出す。

月にハミング
マイケル・モーパゴ <933・モ>

無人島で発見された少女ルーシーは、ひと言も話さない。記憶がないらしい。村で暮らすうちに少しずつ回復していくのだが…。第一次大戦中、シリー諸島沖で豪華客船ルシタニア号が撃沈されたという史実をベースにした、戦争の悲劇と感動の秘話。

おひさまジャム果風堂
高森 美由紀 <913・タ>

東北地方の遊園地で戦隊もののスーツアクターをしている拓真(27歳)と、拓真に引き取られた無表情な小学生、昌(8歳)が織りなすハートフル・ストーリー。

**新着
図書
紹介**

へんな生きもの
へんな生きざま
早川 いくを <480・ハ>

空、陸、海のへんな生きものが大集合！へんな生きものの写真にドキッとしましょう。

マイ・ウィンテージ・ハロウィン
マリオン・ポール <386・ポ>

数年前からブームになってきているハロウィン。その由来や楽しみ方を紹介。他にもレトロな図版、絵はがき、詩や物語も多数収録。

陽光桜
高橋 玄 <289・タ>

「陽光桜を世界平和のシンボルにするんじゃ！」多くの教え子を戦争で死なせた後悔から戦争根絶を誓い、愛媛の山奥で独り、新品種の桜作りに没頭した高岡正明。戦後70年の節目に、その偉業が初めて明かされる。

脳のひみつにせまる本
<491・ノ・1>

脳とはいったいなんなのか？科学的に書かれた本です。まだ解明されていないことの多い『脳』ですが、どこまで研究が進んでいるのか、読めば納得の1冊！心がどこにあるのかにも迫っています。

響きあうハーモニー

世界で一番美しい
藤谷 治 <913・フ>

小学校で出会ったせった君はいつもぼんやりしている少年だった。主人公の島崎が大きな挫折をしたとき、偶然目の前に居合わせたせった君の一言が救ってくれた。その時から二人は行動を共にするのだが…。

ルーシー変奏曲
サラ・ザール <933・ザ>

コンクール、スポットライト、拍手、賞賛、数々の栄光。ピアニストとして英才教育を受けてきたルーシーは、プラハのコンクール会場で、突然舞台から立ち去ってしまう。なぜ彼女は弾けなかったのか？「二度とピアノを弾かないと決めたんだ」祖父の言葉は、彼女の心につきささった。

カルテット！
鬼塚 忠 <913・オ>

「そこにぼくの音楽があるんです！」バイオリニストとして将来を有望視されている中学生の開。ところが家族はバラバラで崩壊寸前だった。ある時、家族でカルテットを組んで観客を前に披露すること—。家族の絆、音楽、そして淡い初恋…。心温まる涙と感動の青春&家族物語。